



H30 第1回

ゴーヤプロジェクト通信簿

製造グループ 川崎優士

昨年に引き続き、ゴーヤプロジェクトが今年もスタートしました。ゴーヤプロジェクトとは、瀧上工業本社建屋西側にゴーヤによって作られる緑のカーテンにより、日光を遮ることで室温の上昇を抑制するとともに、新入社員同士との結束を固めて、社内の各部署はもちろんのこと、協力会社の方々ともコミュニケーションをとることを目的としています。4月26日、第1回ゴーヤ会議が催されました。ゴーヤを栽培するに当たって、なるべく費用のかからないように社内や工場にある廃材や機材を用いて栽培しなければいけません。土やプランターはどうするのか、どうやって緑のカーテンを作るのか等々の話し合いを新入社員一丸となって話し合いました。ゴーヤグループリーダー(GGL)を中心に約1ヶ月の準備期間を経て、5月21日に入社してから初の大きな作業が行われました。5月21日、ゴーヤを栽培するためのプランターを製作する作業が行われました。この日は、天候に恵まれ作業をするにあたりうってつけの天気でした。工場にある廃材を用いて、GGLによって製作された簡単な図面をもとに、罫書き、切断、組み立て作業を行いました。第1回ゴーヤ会議では、新入社員の間でまだまだ緊張感があって打ち解けあっていない感じで、人の顔を伺いながら話しをしている様子が見て取れました。ゴーヤプロジェクトが進行していくと同時に、いつの間にか新入社員同士の間にあった壁は消えてなくなっていました。これから、ゴーヤの苗を植えていき、植えた苗すべてが無事に成長して、本社建屋に立派な緑のカーテンが出来ることを楽しみにしています。



廃材を用いた
プランター製作で
社長も喜ばれています



廃材の切断作業の様子と完成後の廃材プランター

H30 第2回

ゴーヤプロジェクト通信簿

鉄構グループ 毛利智哉

前回は、廃材からプランターを10個作成しました。そのままでは見栄えが悪く、雨風による劣化も懸念されることから、プランターに塗装を施すことにしました。塗装に必要な塗料や刷毛は先輩社員の方々にご協力いただき用意しました。色は、瀧上工業らしさを出そうということで、薄緑色と黒色を使用しました。すべてのプランターを緑色に塗装した後、新入社員それぞれが黒色でバラエティに富んだ絵や文字を描きました。塗料は量が限られていたため、すべてのプランターに塗装が施せるよう調整しながら作業するのに少し苦労しました。

別の日に、工場敷地内で採掘した土をプランターに入れ、苗を植え付けました。敷地内神社横の土がゴーヤの栽培に適していると判断し、その土を使用することにしました。土の採掘も、土を入れたプランターを運ぶのも力が必要であり、新入社員の体力が試される作業でした。そして、ようやくゴーヤの苗をプランターに植えられることができました。つるが伸びてきていたので、しっかり育つように竹の支柱に巻きつけてやりました。今後このゴーヤがどれほどのグリーンカーテンを作ってくれるのか楽しみです。美味しいゴーヤが育つように、愛情込めて水やりをしていきたいと思います。



土の採掘



プランターの運搬



苗の植え付け

第三回 ゴーヤプロジェクト通信簿

設計チーム 裘明

1. 足場の組立及びネットの配置

前回のゴーヤプロジェクト報告書に引き続き、現時点までの成果をここで記載させていただきます。企画書通りに本社建屋に接触しない条件を満足するため、足場を立てネットを設置して「緑陰壁」とします。摘心、収穫等の諸作業に利用できると考えられます。今回、工場内で足場を借りてきて、新入社員全員で協力して組み立てました。高須先輩のおかげで、組み立てている途中での難点を克服しました。このままでは、倒れる恐れがあると指摘があり、「緑陰壁」の反対側へ倒れることのないよう、2mぐらいの鉄製パイプを斜めに設置することにしました。その後、高さ4mまで、ネットを吊るします。ゴーヤが実るとともに、ネットに巻きつけているゴーヤの実がますます増えることが考えられ、風に靡かないよう、新入社員同士でネットを全力で引張って、しっかりと支柱に結びつけました。一応、無事に終了しました。しかし、急に台風が上陸する警報との予報があり。対応策として、足場板(重い)からパイプ(軽い)への変更、及び一番上のネットを撤去しました。

2. 収穫

現時点では、ゴーヤの著しい成長が見られませんが、茄子を収穫することができました。社長にプレゼントとして差し上げました。社長も喜んでいました。我々は、達成感がありました。



3. 感想

現時点では、ゴーヤプロジェクトはエピローグに近づいている気がします。社会人としての生活も知らず知らずにもうすぐ四ヶ月目が終わります。体力の要る仕事が多かったですが、新入社員全員で力を合わせて、知恵を出し合う一方で、外国人として会社に溶け込むことができました。いつの間にか新入社員同士の間にあった距離が縮んだことが感じられました。ゴーヤプロジェクトは人生の中でその価値がある一環と思います。特に、リズムが早い社会人生活の懐かしい思い出になると信じています。これから、水やり、追肥を遂行し、本社建屋に緑のカーテンが見事に咲いてくることを期待しています。



平成 30 年 7 月 23 日

第4回 ゴーヤプロジェクト通信簿

原寸1組 福田龍也

4月から始まったゴーヤプロジェクトもいよいよ終盤に差掛ってまいりました。さて今回は前回の足場の組立及びネットの設置、収穫報告に続き最終発表会、ゴーヤの収穫祭について載せていきたいと思えます。

8月31日にゴーヤの収穫祭及び最終発表会を行いました。まず収穫祭では、はさみをお渡ししてゴーヤのほうをとっていただきました。それなりに大きいものも実っていたので皆様、満足して収穫してもらえたと思えます。最終発表会では、これまでのゴーヤプロジェクトの成果を発表するとともにゴーヤを使用した料理を提供させていただきました。料理は当日効率よく作るために前日に食材などは、カットして持ってくることにしました。味のほうはどれも好評で一安心でした。

これで収穫祭も発表会も成功で終わることができましたが、9月3日には、近隣の保育児を招いてゴーヤを再収穫する予定なのでこちらのほうもしっかりやっていきたいです。



調理風景



発表の様子



社長の収穫



提供した料理